

荒川区子育て交流サロン事業

「子育てが楽しい！」と実感できるように地域に住む私たちが子育てを応援します！

2023年度の活動状況

【開室日】毎週 火、金、土曜日 【開室日数】145日
【時間】①10:00～11:20 ②11:50～12:10 ③12:40～15:00
【参加者】子ども2,100名 保護者2,091名 ボランティア197名

地域のソーシャルファミリーに

「子どもたちの健やかな成長を地域みんなで支えたい」「地域のソーシャルファミリーをつくりたい」を目指して令和3年4月に開所してから3年がたちました。孤立した子育てにならないように、「親子でホットできる居場所」をモットーに、ママ、パパはちょっとお茶を飲んでホットと息つけるように、スタッフ、ボランティアが子どもたちと

楽しい子育てになるように、様々な活動プログラムを取り組んでいます

助産師さんによるおしゃべり相談(毎週火曜日)
年間:49回 / 参加人数:288名

子育てについての情報は、あふれています。役立つ情報もたくさんある反面、不安になることも多く、毎週火曜日には、助産師さんによる個別の相談を気軽にできる時間をつくっています。
母乳・卒乳のこと、赤ちゃんの健康や心の発達、出産後のお母さんの健康、事故防止予防、災害時避難、また、個別の心配ごとへのアドバイスなどを行いました。

現役保育士さんれい子さんの歌遊び、手遊び
年間:77回 / 参加人数:2008名

おもちゃでたっぷり遊んだあとは、「おはじまるよ はじまるよ」の歌で、れい子さんの周りに親子が集まります。手遊び、ペープサート、パネルシアター、一番人気は「だるまさん」。だるまさんになったつもりは、とても微笑ましいひとときです。毎回くりかえし取り組むことで子どもたちが、前にでてきて我慢がみせてくれる姿は、本当に微笑ましく、うれしい時間です。

下町紙芝居の会
年間:21回 / 参加人数:459名

ボランティアさんが子どもたちのために、わらべ歌遊びと、親子で楽しめる乳児向けの紙芝居を上演。

大人のための朗読会
年間:10回 / 参加人数:273名

なかなか読書の時間がとれないママたちに、日常から少し離れた世界を味わってもらえるように、短くてほっとでき、また、共感できるようなエッセーを朗読。

子育て交流サロン / ふあみ～る

ママ、パパの声をききました!

- 「いつも温かく迎えてくれ、リラックスして遊べて嬉しい」
「子どもたちが大好きな都電が見える」
「子どもたちと一緒に遊んでくれる」
「おもちゃがたくさんある」
「お茶を飲んでホットと息つける」
「土曜日に利用が出来る嬉しい」

一緒に遊ぶサポートをしています。最初は人見知り、場所見知りで大泣きする子どもたちも、親から離れ笑顔で遊ぶようになり、「寝返り」「ずり這い」「ハイハイ」「つかまり立ち」「あんよ」と子どもたちの成長を、保護者と一緒に喜びを感じる日々です。

パパママカメラマン!季節の壁掛けアートfrom ilona
年間:51回 / 参加人数:保護者758名

布の風合いを活かして作成した壁掛けアートの前で自由に撮影できるイベントを毎月行っています。春は菜の花、夏はひまわり、秋は田んぼの風景とお月見、冬はクリスマスやかまくらアートに合わせてコスチュームを着て遊びに来てくれるお子さんも!月齢を表記して子ども達の成長記録になります。

土曜日はパパも参加!
子ども344名 / 保護者348名(内パパは92名)

毎月第1土曜日は簡単手作りおもちゃにパパもママもチャレンジ!紙皿、紙コップ、ペットボトル、風船などを使用し、子どもたちが楽しめるおもちゃをつくります。
毎月第2土曜日には、パパとママと一緒に親子で音楽遊びの時間です。最初に保護者の方々に向けて安らぎのピアノの小曲から始まり、音楽に合わせてリトミック、また様々な童謡、唱歌などをみんなで歌い日常的に音楽を楽しんでほしいと願っています。

季節行事も楽しみました!
参加人数:325名

こどもの日、七夕まつり、クリスマス会、節分、ひな祭り、アフタヌーンティー、お茶会など、みんなで楽しみました。ユニバーサルステーションに参加する多世代の仲間たちも、装飾づくりなど手伝ってくれました。

防災訓練と講座赤ちゃんと防災
年間:9月と3月に2回実施 / 参加人数:62名

日々の暮らしの中で、災害に備えることが必要です。特に赤ちゃんを抱えての災害時避難や備蓄用品などの情報提供をしました。

2023年度ホットステーション実施のイベント

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like '川の手荒川まつり', '東京都立大学 青鳩祭', 'スマイリングプロジェクト'.

スタッフ研修勉強会

- 2023年 7月2日(日) 荒川区・荒木田ふれあい館にて 方針の統一化:大村、相庭
2024年 2月12日(月) 荒川区・ホットステーションにて ソーシャルファミリーの理解統一化:相庭

子ども村ホットステーションと様々な人々、団体とのコラボ

子ども村ホットステーションは、都電町屋2丁目駅から徒歩1分、交通の便の良い建物の2階にあります。大きな広い窓からは、さんさんとお日様があたり、都電がいつも見えます。皆さんが集う広さがあるので、私たちが使用していない時は、スペースの貸し出しをしネットワークをつくり、「誰も取り残されない地域」の一步としたいと思っています。

子ども村ホットステーションの応援をお願いします!

たくさんのボランティアさん、地域の方々、団体・企業のみなさまからのご支援と、荒川区子育て支援部からのご支援で活動が継続できています。心から感謝申し上げます。

- 支援方法
以下①～③のどれかをお選びください。
① サポーター会員(個人) / 年間 3,000円 ※
② サポーター会員(団体) / 年間 20,000円 ※
③ 寄付 / ご希望の金額
※①、②は継続的なご支援をお願いいたします。
銀行へのお振り込み
銀行名 : 城北信用金庫 町屋支店(304)
預金の種類 : 普通
口座番号 : 0048221
口座名 : 一般社団法人子ども村ホットステーション

お問合せ先

一般社団法人子ども村ホットステーション 事務局
〒116-0001荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋201号室

03-6240-8571

arakawa.kodomomura@gmail.com



▲公式サイト

一般社団法人

子ども村ホットステーション

2023年度 活動報告書



コロナもだいぶ落ち着き、2023年度最初は毎回消毒やアクリル板設置に緊張しての開催でしたが、年度の終わり頃にはコロナ前の賑やかな食卓が戻ってきました。また、子育て交流サロンの「ふあみ～る」にも沢山の参加者を迎えるようになりました。

ホットステーションは2024年5月で開設10周年を迎えます。設立当初寄り添っていた子ども達も現在では学校を卒業し、社会人となっています。不登校を支えてきた子ども達も、中には4年間の定時制高校を卒業し、立派な社会人として自立することができた子どもいます。

かれらの日常に寄り添い、1ミリの成長を感じながらの活動を継続してきた結果を感じている日々です。

今日はどうにもならなくても、子ども達の体温を感じながら「明日も元気でいれば、きっといいことあるよ」とつぶやきながら子ども達と日常を一緒に過ごすことの大切さも感じています。

一般社団法人 子ども村ホットステーション
代表理事 大村みさ子